

asobi基地キャンプ（夏）大井川 持ち物リスト

持ち物	チェック	説明
初日の昼食		車の方：食事を済ませて集合。またはお弁当などを購入してきて現地で食べても構いません。 貸切バスの方：車内で昼食になります。
着替え		「服が汚れるでしょ!」と叱らずに済むように、①汚れてもよい着替えを ②多めに用意してください。トイレに行きにくくなる子もいるので、不安がある子は下着は多めに。 気温の面からは半袖・半ズボンで大丈夫ですが、虫刺され（蚊はもちろんアブやハチなど）が気になる場合は、速乾素材のアウトドアウェア長袖・長ズボンにディート（虫除け）がおすすめ。蚊取り線香は屋外では効果ありません。 解説： 確実に効く！キャンプ&アウトドアでの最強「虫よけ」2製品
パジャマ		こだわりがなければ不要です。スウェットやジャージ等のほうが、汚れても気にならず、保温性も高く、使い勝手が良いでしょう。行動着で寝ても何も問題はありません。
上着		夜・早朝は少しひんやりするので（最低気温20℃くらい）、ジャージの長袖上下くらいはあったほうが良いでしょう。冬物ジャンパーまでは必要ありません。
レインウェア		晴れ予報でも必ず持参してください。キャンプでは手がふさがってしまうと活動に困る場面が多いため、傘のみはNGです。防水透湿素材の上着があると、子どもたちは、悪天候でもヘッチャラで遊び回ります。 参考： レインウェアの選び方 雨の親子キャンプが劇的に楽しくなる！（ビニールの雨ガッパはNG）
川遊びの服装		肌を露出しないラッシュガードスタイルがおすすめです。 死亡事故に繋がります ので、子どもを遊ばせる場合は、親も必ず川に入ってください。率先して川の状況を確認し、いざというときに、子どもを救助できるように準備しておきます。 スマホなど濡れては困るものは、防水ケースに入れるか、あらかじめ避難させてください。
帽子		真夏ですので35℃以上になることもあります。熱中症や日射病防止のため、必ず持ってきてください。
水遊び用の靴		日中は河原の石が熱くて、素足では歩けません。また、川底は、裸足では踏ん張れません。怪我防止のために、必ず水遊び用の靴を用意してください。 使い古した運動靴・上履き、マリンシューズ、かかとで固定できるサンダルなど。 ビーチサンダルは流されてしまうため厳禁 です。
水遊び用のバスタオル		

水遊びの道具		浮き輪、水鉄砲などお好みで。
濡れたものを入れるビニール袋など		
お風呂用具		徒歩圏に温泉「 もりのいずみ 」があります。バスタオルレンタル可。また管理棟にコインシャワーあり（100円/5分）
アメニティ類		洗顔、歯磨きほか、任意のアメニティグッズ類
食器セット		①カトラリー（はし、スプーン、フォーク等） ②コップ ③カレー皿 ④汁物用お椀 があれば、大抵の状況に対応できます。メラミン、ホーロー、プラスチックなど、割れにくいもの。 ゴミは持ち帰りがキャンプの原則です。割り箸や紙皿は避けてください。八木キャンプ場では、（生ゴミを除き）ゴミ收拾をしていません。
ネックライト		夜間にトイレに行く際や、テント内での明かりです（真っ暗になります）。スマートフォンのLED照明でも代用できますが、片手がふさがると不便なケースが多いため、気軽に首から下げておける、ネックライトがおすすめです。 例： https://amzn.to/30Egzav
モバイルバッテリー		八木キャンプ場にはスマートフォンを充電できる場所はありません。
保険証、常備薬		運営では擦り傷、切り傷、火傷用の湿潤治療の処置材のみ用意しています。それ以外は、通常の家族旅行同様に、各自で準備をお願いします。
自宅で使用している枕/キャンプ用の携帯枕		必須ではありませんが、特に子どもは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。 また、ご用意しているキャンプ用具に、枕は含まれません。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。
寝具		おすすめはコンパクトに収納できる アウトドア用ブランケット 。キャンプ用のコットやマットを持参するのもおすすめ。真夏ですので寝袋はなくても問題ありません。 参考： テントで1泊するために最低限必要なキャンプ用品&寝具まとめ【完全初心者版】
テント（持参したい人のみ）		今回、テント&テント内シートは、無償提供していただきますが、もちろん持参も可能です。
チェア、テーブル（可能な方のみ）		車参加で、焚き火にぴったりのアウトドア用のチェアやテーブルを所持している方は、ぜひ持ってきてください。※イス・テーブル不足の可能性あります